

交流のひろば

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。

花や木から元気もらって



園芸コンテストで2部門入賞
中沢 洋子さん(48)
東大室町

ぐんまフラワーパークが行った、ガーデニングコンテストの二部門で同時入賞。ハンギングバスケット部門で県教育長賞、コンテナガーデン部門で県議会議長賞に輝いた。

「新聞で受賞を知った知人が

からお祝いの電話もいただき、とてもうれしかったです。ハンギングバスケットは、中央にアザレア、周りにペンタスや葉物をあしらひ、全体をハート形に仕上げた作品。親族に結婚式があり、その記念にと思って作りました。コンテナガーデンは、夏の花のフウセンカズラと秋のイソギクなどを植えて、移りゆく季節を表現しました」

トは日本協会のマスターの資格も取得。群馬県支部会員として、教室で指導もしている。

「草花や木を育てていると自分が元気をもらえるんです。だから、手入れをしているときに楽しくて、近所のお年寄りもよく見に来てくれて、会話も弾みます。休日には主人が重労働を手助けしてくれたり、娘がデザインの意見を言ってくれたり」と園芸が家族共通の話題にもなっているんです」

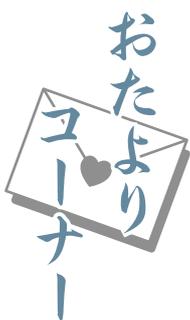
愛情を注ぎ、丹精する家人に応えるように、庭には季節の美しい花がさわやかな初秋の風に揺れていた。

早く焼きたい

自分だけの土器

高井町一丁目・中山詩央里

九月十八日に大室公園で行われた土器作りに参加しました。砂が混ざっているねん土を使うのは初めて。形を作るのが難しく、なかなか納得できる物ができまじりませんが、だんだん上手に作れるようになりました。



一万年以上も前の人々は、何のためにいろいろな土器を作ったのか不思議です。土器を作っていると二時間はものすごい早さ。時間があと少しになってやっと形ができ、縄や竹ぐしで模様を付けました。自分だけの土器が作れてとてもうれしかったです。

また、ほかの学校の友だちもできました。最初は無口だったけど、だんだんと口数が増え、いろいろな話をしながら作りました。最後にみんなが作った土器を並べてみると、さまざまな模様や形、大きさの土器があり、どれも個性的。次回の教室でこれらを焼くので、「自分だけの土器」の完成が楽しみです。

まちのニュース

第一天川町

上達しながら 楽しく練習



第一天川町では高齢者の健康づくりを目的に、天大橋公園でグラウンドゴルフをしています。一年前に有志でチームをつくり、木曜・土曜の午前中、一時間みっちり練習。芝生や砂面など変化に富んだ八コースを回ります。

このスポーツはルールが簡単なので、年齢や性別に関係なく誰でも気軽に楽しむことができますのが特徴です。しかし、クラブを握り一打一打ボールを打つ姿はどの人も真剣そのもの。

大島虎夫自治会長は、「健康に気を付け、マイペースで楽しんでいきます。だいぶ上達しました。目指すはホールインワンです」と話していました。